

## 特別講演 1

# 「慢性心不全×慢性腎臓病～SGLT2 阻害剤を用いた治療戦略～」

AISAN クリニック副院長

愛知医科大学循環器内科客員教授

中野 裕介 先生

心不全パンデミックと揶揄されるように心不全患者は増加の一途をたどっており、ひとたび心不全が増悪し入院となれば、身体機能は低下し予後の悪化につながります。

そんな中、心不全の新たな治療薬「ファンタスティック4」の投与が励行されています。

特に、SGLT-2 阻害薬の一つであるダパグリフロジンは、糖尿病治療薬として登場しましたが、HFrEF（収縮機能低下型心不全）、HFpEF（拡張機能低下型心不全）、さらにはCKD（慢性腎臓病）の治療にも適応が広がっています。従来、心不全管理は有症状期（ステージ C・D）が話の主流でしたが、心不全の増悪・増加を防ぐために無症状期（ステージ A・B）からの管理の重要性が増しています。

本講演では、ダパグリフロジンのエビデンスを振り返り、心不全ステージ A～D の日常臨床における適切な使用方法について再確認します。